

4月実施

フロン類年次報告 簡易マニュアル(PC業者版)



フロン類年次報告とは？

法令により、フロン類回収業者の皆様が**事業所ごとに1年に1度必ず**行わなくてはならない報告のことです（**事業者ごとではありません**）。
毎年4月1日から4月30日の間に、前年度(前年4月1日～当年3月31日)の実績について報告を行ないます。

地球温暖化防止のため、フロン類の適正な回収/処理/報告を行っていただすることが必要です！

※報告内容は「引渡量」「再利用量」「保管量」のみです！

報告は「自動車リサイクル法第81条第5項」による義務であり、報告を行わない場合、自治体から勧告・行政処分を受けることがあります！

報告について

報告は簡単に行なうことができます。ここからは報告に必要な作業を順番にご紹介します。自動車リサイクルシステムのホームページ(<http://www.jars.gr.jp>)から「事業者向け」→「フロン類回収業者」→「電子マニフェストシステム」とそれぞれ該当個所をクリックし、ログイン画面を表示させます。

1

ログイン

電子マニフェストシステムにログインします。

情報管理センターシステム - Microsoft Internet Explorer

自動車リサイクルシステム

ログイン (JPRS0200)

閉じる

1. ログイン情報 ※印の項目は、必ず入力してください。

事業所コード*	<input type="text"/>
パスワード*	<input type="password"/>

閉じる パスワード変更 ログイン

事業者登録完了時に送付された「システム登録完了通知書」に記載されている①**事業所コード**（「フロン類回収業者」としてのコードで、末尾が「03」で終わる12桁の数字です）と②**パスワード**をそれぞれ入力し、**ログイン**をクリックします。



メニュー選択

情報管理センターシステム - Microsoft Internet Explorer

自動車リサイクルシステム

フロン類回収工程 > メニュー選択 (JPRS2000)

フロン類年次報告が未実施です。

業務終了 P 画面印刷 ? ヘルプ

自社情報
事業所コード 333033303303 事業者／事業所名 [詳細] 品川解体工業（株）品川工場

1. 電子マニフェストによる移動報告
1.1 引取報告 使用済自動車の引取報告

中略

2007年度の移動報告実施状況は、92%です。また、都度入力の実施状況は、100%です。
フロン類については、メーカー等への引渡報告、または、再利用連絡を忘れずにお願いします。

3. フロン類年次報告
3.1 フロン類年次報告 フロン類年次報告
フロン類年次報告を忘れずに報告してください。

4. 取り扱った車台に関連する情報の閲覧

ログイン後、表示された画面の

3.1 フロン類年次報告
をクリックしてください。

※ 報告が行われるまで赤字でメッセージが表示されます。
メッセージを確認した場合は必ず報告を行ってください。

報告年度の選択

メニュー選択画面で「3.1 フロン類年次報告」をクリックすると、「報告年度の選択」の画面が表示されます。

情報管理センターシステム - Microsoft Internet Explorer

自動車リサイクルシステム

フロン類回収工程 > フロン類年次報告 > 報告年度の選択 (JPRS2600)

メニューに戻る

4/1~4/30の期間は、前年度の報告内容を変更することができます。
5/1以降に変更する際は、年次報告が既に完了していますので、いったん取消してから再報告して下さい。

1. 報告実施事業者（自社）情報
事業所コード 333033303303 事業者／事業所名 [詳細] 品川解体工業（株）品川工場

2. フロン類年次報告の対象年度選択

報告対象年度	報告状況	報告選択
2006年度分	未実施	[選択]
2005年度分	済	[選択]

メニューに戻る

報告を行う年度を確認し、
報告する年度の

選択

をクリックします。

※このとき、前々年度(古い方の年度)分のフロン類年次報告が行われていないと**前年度分の報告ができません**ので、前々年度分の報告が「済」になっていない事業所の方は、はじめに**「前々年度分」**のフロン類年次報告を行ってから、「**前年度分**」の報告を行ってください。

報告期限の4月30日を過ぎてもフロン類年次報告が行われない場合は、その旨の連絡が情報管理センターより管轄の自治体へと報告されます！



前年度にフロン類の再利用を行った事業者の方へ

フロン類年次報告の数値を確定する前に

再利用を行ってない方は
不要です！



正しい報告を行うために、前年度にフロンの再利用を行った場合は
フロン類年次報告をする前に「再利用連絡」について確認してください。

フロン類移動報告実施状況の確認

確認通知はありません。

2.4 確認通知の閲覧 引渡先（メーカー指定引取場所）のフロン類引取報告（発送拠点経由）の未実施状況
確認通知はありません。

〈貴社のフロン類移動報告実施状況のお知らせ〉
2007年度の移動報告実施状況は、92%です。また、都度入力の実施状況は、100%です。
フロン類については、メーカー等への引渡し報告、または、再利用連絡を忘れずにお願いします。

メニュー選択画面に表示される
《貴社のフロン類移動報告実施
状況のお知らせ》にある
「移動報告実施状況」の数値を
確認してください。

★ 実施状況の値が低い場合は、再利用連絡等が漏れ
ている可能性がありますので、以下の手順で作業
を行い確認してください。

再利用連絡画面の確認

ここでは車台と報告年度を確認し、
報告対象年度分の連絡忘れがあった
場合は、以下の手順で作業を行い
再利用連絡を行ってください。

報告画面左下にある
(4ページ掲載イメージ参照)

再利用連絡画面へ

をクリックすると、「フロン
類再利用車台の連絡」のうち
「対象車台の選択」画面が
表示されます。

再利用連絡を忘れて
いた場合は…

1. 「2. 引取報告済車台の一覧」において、報告対象年度分で連絡を忘れていた車台を
確認します。
2. 「報告年度」欄で連絡する車台の年度を「▼ボタン」をクリックして選択します。
※通常は今年度を表示していますので、報告忘れがあった場合は昨年度へ変更します。
3. 「再利用対象選択」欄で連絡する車台をクリックして選択します。
4. 確定ボタンをクリックした後、新たに表示されるメッセージのOKボタンを
クリックすると作業終了です。

※これで、「フロン類年次報告」で報告する「自ら再利用した量」のもととなる再利用連絡済
の車台数が確定しました！ 4ページに進み「フロン類年次報告」を行ってください。



年次報告の入力



入力のポイント

年度を選択すると新しく報告画面が表示されますので、フロン類の取扱実績についての報告を行います。以下の入力例にしたがって、入力をすすめてください。

A 自動車メーカー等に引き渡した量の入力

前年度においてメーカー等（メーカー指定引取場所）に引き渡したフロン類の量を入力してください。
単位はkgで小数点以下第1位まで入力します。

※左側の（参考）を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

（参考）自動車メーカー等による引取量		自動車メーカー等への引渡量	
フロン類種別小計		合計	
CFC	HFC	1773.2 kg	834.0 kg
		2607.2 kg	2607.2 kg

※左側の（参考）を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

B 自ら再利用した量の入力

各事業所で把握しているフロン類再利用量を入力してください。
単位はkgで小数点以下第1位まで入力します。

※左側の（参考）を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

（参考）再利用連絡済車台数		フロン類再利用量	
フロン類種別小計		合計	
CFC	HFC	98台	48.4 kg
		98台	48.4 kg

※左側の（参考）を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

C 前年度末に保管していた量の入力

各事業所で把握している年度末（3月31日）時点でのフロン類保管量を入力してください。
単位はkgで小数点以下第1位まで入力します。

※左側の（参考）を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

（参考）保管車台数		フロン類保管量	
フロン類種別小計		合計	
CFC	HFC	35台	15.8 kg
		51台	15.8 kg
		16台	7.6 kg
		51台	23.4 kg

※左側の（参考）を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

D 「引渡量」「再利用量」「保管量」の合計表示

それぞれの報告項目にある「計算」をクリックすると、各項目の合計が表示されます。

入力欄左側には、参考情報として、再利用連絡が行われた車台数が表示されていますので、報告値の妥当性を確認するためにご覧ください。

入力欄左側には、参考情報として、保管車台数が表示されていますので、報告値の妥当性を確認するためにご覧ください。



★ 注意事項

要注意！



もし前年度に実績がなかったら？

実績がない場合は、「引渡量」、「再利用量」、「保管量」の3つの報告事項にそれぞれ、「0. 0kg」と入力してください。
※小数点以下第1位までを入力しないとエラーになります。

もしエラーになつたら？

入力に不備がある場合は、エラー個所が
ピンク色で表示されます。
その場合は必要事項を正しく入力しなおして下さい。



使用済自動車以外から回収したフロン類（整備・修理時に回収したもの）は年次報告の対象外です。

5 センターへの報告

※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力し、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

フロン類再利用量		
合計	フロン類種別小計	
	CFC	HFC
0 台	48. 4 kg	0. 0 kg

E

センターへ報告

をクリックすると、新たに確認のメッセージが表示されますので

OK

をクリックします。

※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

フロン類保管量		
合計	フロン類種別小計	
	CFC	HFC
341 台	15. 8 kg	7. 6 kg



以上で「フロン類年次報告」が完了しました。

ご不明な点がございましたら、6ページの「よくあるご質問」をご覧ください。



よくあるご質問

■ ログインに必要な「事業所コード」と「パスワード」がわかりません。

自動車リサイクルシステムに事業者登録をした際に右のような「システム登録完了通知書（フロン類回収業者事業所用）」を送付していますので、お手元の資料をご確認ください。
紛失された場合は「自動車リサイクルシステム事業者情報登録センター（050-3786-8822）」へお問い合わせください。

システム登録完了通知書（フロン類回収業者事業所用）	
【事業所情報】	登録種別：変更　登録・変更・削除申請者 事業所名 テスト用_自動車リサイクルシステム運用委託会社_自動車再資源化協力機構
(付) テスト用_自動車リサイクルシステム用ヨウイントレーニングカキヨウタキヨウ	
所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館16階
(付) トクヨウトマトシマハダイモ1-1-30ニヨウジドウシカイカン16カイ	
電話番号：03-5405-6150	
変更・削除理由	
【システム登録区分情報】事業所コード：100323300103	
パスワード：27c2gdcf	

登録ステータス：未登録	登録種別：登録
登録・変更・削除有効日：2004年9月15日	申込日：2004年9月15日
登録・変更・削除申請者：業者共通受付窓口	
自治体登録・許可番号(交付法)：0000000000	自治体登録・許可番号(交付法)：2005年1月1日
自治体登録番号(交付法)	年月日
自動車リサイクル連絡担当部署名 (付) カンパニー	
自動車リサイクル連絡担当者名 (付) システム担当	
電話番号：03-5405-6150	FAX番号：03-5405-6117
メールアドレス：testtest@jarpjarp.org	
移動報告制御ID-KEY：通常	移動報告の方法：パソコン
移動報告台帳に使用するAX番号：	
業者情報公開可否(0:否, 1:可)：否	

■ 年次報告が出来ないのですが？

電子マニュフェストシステムの受付時間（7：00～21：00）外ではありませんか？

■ 誤った報告をしてしまったのですが修正は可能ですか？

- 報告期間内（4／1～4／30）であれば修正可能です。
- 再度、同じ手順にて報告画面を表示させ、誤った数値を消したうえで正しい数値を入力し、報告を完了させることで修正作業が終了します。
- また、翌月中であれば一旦「取消作業」を行い再度報告することで、修正が可能となります。報告の際は細心の注意を払うようにしてください。

■ 再利用量はどのように把握すればよいですか？

- 日頃からご自身で計測し、台帳等で再利用量を管理しておくことが重要です。

ご不明な点がございましたら

自動車リサイクルシステムコンタクトセンター



050-3786-7755

平日／8:30～20:00

土日・祝日／9:00～18:00

までお問い合わせください



自動車リサイクルシステム

(C)公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

Ver. 1.3